

プラスチック削減の工夫

巽 節子

最近テレビで海中の模様を見るまで、プラスチック汚染がこれ程深刻だとは思いませんでした。何故、こんな事になったのか。プラスチックは、軽くて丈夫、濡れても破れない割れにくい、色が綺麗、で企業も消費者も使いやすい。リサイクルしているのに何故こんなにも海に漂っているのでしょうか。

一つは近年増えている天災によって、家屋が流される事があるのではないのでしょうか。そして他には、ポイ捨てが一因だと言われています。

私はプラスチック削減にどんな工夫をして来たかを考えてみました。マイバックを持ちレジ袋はすぐ溜まるのでもらわない。リサイクルに回せる物は回し、電化製品等新商品が出ても飛び付かず壊れてから買う。時々、家の回りのゴミを拾う。書き出してみるとこれだけしかしてなくて、削減に貢献しています。

みたいな気になっていました。他の人も似た
りよったりで満足して居るのではと思います
次に私がしたい工夫を考えてみました。家
にあるプラスチック容器を持って魚を買いに
行く。肉は竹の皮に包んでもらう。野菜は紙
の袋に入れる。トレイもレジ袋と同じく有料
にすれば、100円、200円安くなるならトレイを
断る人も増えるのではないのでしょうか。シャ
ンプリーや調味料は空容器に入れてもらう。少
し嵩張って重くなるけど工夫すれば出来ると
思います。昭和に逆戻りする様で新しい試み
だと思いませんか。

そして企業にはプラスチックを減らす工夫
をし、それに替わる容器の開発をしてもらい
たいです。瓶は重いので軽くしたガラスの開
発や紙だけど中身の見える容器など、日本の
技術で作れると思います。

十年先、そんな店が当たり前になっていた
らいいなと思います。海も少しは綺麗になっ
ているだろう事を願って。